

第32号

平成20年10月1日

理窓教育会報

東京理科大学理窓教育会

事務局 東京理科大学理窓会館4階

巻頭言 『子どもの可能性を伸ばすには』

東京理科大学理窓教育会 会長 (33K) 酒井 淳

平成17年10月の中教審の答申「新しい時代の義務教育を創造する」で全国的な学力調査の実施が答申され、平成19年4月には小学校6年と中学校3年の全員を対象とする全国学力調査が行なわれた。平成20年には授業時間数1割増の新学習指導要領が告示された。

一連の国の動きと共に、全国で、教育の改善や学力向上に向けての取り組みが活発化している。例えば「朝の読書」運動は、毎朝、授業のはじまる前の10分間、生徒と教員がそれぞれ好きな本を読む教育活動である。朝の読書を続けることにより読解力や国語力が向上するだけでなく、遅刻やいじめ、不登校が減少する等の教育効果が報告されている。また「早寝早起き朝ご飯」運動は、子どもの基本的な生活習慣の乱れが学習意欲や体力、気力の低下の要因であり、個々の家庭や子どもに止まらず社会全体の問題として取り組む必要があるとして、平成18年に、PTA、子ども会、青少年団体、スポーツ・文化団体等が参加して全国協議会が設立された。

近年、朝食欠食などの子どもの食生活の乱れや肥満傾向などが見られ、成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身をはぐくむための重要な要素である。このことを推進するため、平成17年7月、「食育基本法」が施行された。食に関する問題は、言うまでもなく家庭が、中心となって改善すべきであるが、食生活の多様化が進む中で、家庭内での十分な指導が困難となるばかりか、保護者自身が望ましい食生活を実践できない場合もある。

なぜ朝ごはんが大切なのか。脳科学の研究者からの報告では脳と食事との関係を科学的に分析すると、脳が消費するエネルギーは夕食で摂取した炭水化物は、ブドウ糖として肝臓に蓄えられ、睡眠時間中は、そのブドウ糖を消費する。脳の消費エネルギー量は、寝ている時も起きている時もほとんど変わらない。肝臓に貯蔵できるブドウ糖は約60グラム、1時間に脳が消費するブドウ糖は約5グラムだから、単純に計算すると、何も食べずに12時間たてば肝臓に蓄えられたブドウ糖は空になる。

朝食を抜けば、脳は飢餓状態となり集中力や記憶力が働かなくなり、作業能力・学習能力は低下する。日本をはじめアメリカ・イギリス・スウェーデンなど海外でも、頭脳の活性化に関する朝食の効能を実証する資料は少ない。朝食は体にエネルギーを与えて、脳を覚醒させるほかにも、人間としてもっとも効率よく活動できるリズムを整える働きもある。学力や能力アップはもちろん、将来の健康づくりのためにも、ぜひとも朝食を習慣づけることが必要である。

私どもは、日本の文化を基盤とした身近な衣・食・住を改めて見直し地球上での人間の役割は何なのか。成長段階にある青少年の育成についての家庭教育、学校教育、社会教育の役割を確立し、子どもの可能性を伸ばすについてのあるべき姿を模索し実践することが現在問われているのである。

(東京女子学院中学高等学校長)

東京理科大学理窓教育会 平成20年度 総会

第1号議案 平成19年度会務報告

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成19年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった。それを本部で集計し、会報第30号に詳細を掲載して、書面で承認してもらった。

①平成18年度の会務報告及び会計報告。平成19年度の活動計画及び予算案。

②教育会会則の改正。第11条付則3、中部（Ⅰ）地区の長野支部を中部（Ⅱ）地区に移す。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況

| | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 6月30日 | 富山支部総会 | 7月21日 | 神奈川支部総会 |
| 9月23日 | 広島支部総会 | 9月29日 | 東京支部総会 |
| 9月29日 | 山梨支部総会 | 10月17日 | 茨城支部総会 |
| 11月13日 | 岩手支部総会 | 11月23日 | 福岡支部総会 |
| 12月1日 | 静岡支部総会 | 12月1日 | 群馬支部総会 |
| 12月8日 | 埼玉支部総会 | | |

② 会報発行

第30号平成19年8月24日発行

第31号平成20年3月8日発行

③ 理窓教育会支部と本部の連絡窓口の設置

入試センターに理窓教育会会員を嘱託員として配置し、業務とともに理窓教育会支部と大学、および理窓教育会本部との連絡業務を担当する体制を作った。

3. 大学との連携事業

① 大学「入学前学習支援」事業への協力

「入学前学習支援委員会」の計画に基づき、理窓教育会会員の添削委員が添削作業に取り組んだ。

② 国の「小学校理科支援事業」への協力

東京理科大学「理数教育アシストセンター」へ理窓教育会会員の登録の推進を行った。

4. その他の活動（東京支部主催）

① 管理職選考合格者・退職者等激励会（3月8日）

年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っている。この調査に基づき、東京都の20年度昇任予定者、20年度選考合格者、19年度末退職者を紹介し激励した。

② 新規採用教員予定者激励会（3月8日）

本学を卒業し全国の公立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。

③ 編集委員会

平成19年7月20日 第30号の発行について

平成20年2月20日 第31号の発行について

④ 指導委員会

大学の講座（教育学特講2A 教育学特講2B 教育実習事前指導）への講師を推薦した。

生涯学習センターが実施する教員採用試験対策講座[3年生対象(秋) 合宿(3月) 4年生対象

(春)]および、帰国子女入学予備教育講座へ講師を紹介した。講義内容検討会(7月) 反省会(1月)を行った。

就職課が実施する教職ガイダンス[4年生対象(4月)3年生対象(11月)]及び面接指導(2次試験対策)への講師を紹介した。

⑤ 研修委員会

東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

第3号議案

平成20年度活動計画案

(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

1. 総会

平成20年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらい、それを本部で集計し、会報第32号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第33号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第32号、第33号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

第31号発送宛先ラベルの右下部に会費納入最終年度の数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用できるよう改善した。今後も続けていく。本会維持のための会議、会報編集、印刷、発送等の業務のため、相当の経費がかかる。各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

6. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し一人でも多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

就職課ガイダンス、面接指導への講師派遣、生涯学習センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 大学創立125周年記念事業への協力

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力

ア. 学生募集広報に協力する

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ 大学の推薦入学者等「入学前学習支援」に協力する。

同委員会へ委員を派遣する。学習テキストの編集委員を派遣する。答案添削委員を派遣する。

⑤ 「小学校理科支援事業」、大学の「理数教育アシストセンター」事業への協力

7. 教育管理職受験者支援(東京支部主催)

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

イ. 管理職に昇任された方々への祝意を表す会を開催する。

8. 新規採用教員予定者激励会(東京支部主催)

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

第2号議案 平成19年度会計報告

平成19年度 会計報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

[収入の部]

| 科目 | 予算 | 決算 | 比較増減 |
|-----------|---------|---------|--------|
| 前年度繰越金 | 159,808 | 159,808 | 0 |
| 納入会費 | 350,000 | 381,000 | 31,000 |
| 理窓会正会員協力金 | 5,000 | 14,100 | 9,100 |
| 雑収入・利息 | 500 | 75 | -425 |
| 合計 | 515,308 | 554,983 | 39,675 |

[支出の部]

| 科目 | 予算 | 決算 | 比較増減 |
|---------|---------|---------|---------|
| 交通費 | 75,000 | 75,000 | 0 |
| 慶弔費 | 30,000 | 29,750 | 250 |
| 会議費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 支部長会積立金 | 200,000 | 100,000 | 100,000 |
| 事務費 | 40,000 | 4,869 | 35,131 |
| 会報印刷費 | 70,000 | 89,815 | -19,815 |
| 郵送費 | 80,000 | 76,040 | 3,960 |
| 記念品代 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 10,308 | 0 | 10,308 |
| 小計 | 515,308 | 375,474 | 139,834 |
| 次年度繰越金 | | 179,509 | |
| 合計 | 515,308 | 554,983 | |

第4号議案 平成20年度予算案

平成20年度予算

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

[収入の部]

| 科目 | 予算 |
|-----------|---------|
| 前年度繰越金 | 179,509 |
| 納入会費 | 370,000 |
| 理窓会正会員協力金 | 10,000 |
| 雑収入・利息 | 500 |
| 合計 | 560,009 |

[支出の部]

| 科目 | 予算 |
|---------|---------|
| 交通費 | 75,000 |
| 慶弔費 | 30,000 |
| 会議費 | 5,000 |
| 支部長会積立金 | 200,000 |
| 事務費 | 40,000 |
| 会報印刷費 | 90,000 |
| 郵送費 | 80,000 |
| 記念品代 | 0 |
| 予備費 | 40,009 |
| 合計 | 560,009 |

※地区別支部長会費会計

平成19年度会計報告及び平成20年度予算案

平成19年度 会計報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

[収入の部]

| 科目 | 予算 | 決算 | 比較増減 |
|---------|---------|---------|----------|
| 前年度繰越金 | 658,275 | 658,275 | 0 |
| 本年度会計より | 200,000 | 100,000 | -100,000 |
| 受取利子 | 0 | 460 | 460 |
| 合計 | 858,275 | 758,735 | -99,540 |

[支出の部]

| 科目 | 予算 | 決算 | 比較増減 |
|----------|---------|---------|---------|
| 地区別支部長会費 | 250,000 | 0 | 250,000 |
| 予備費 | 608,257 | 0 | 608,257 |
| 小計 | 858,257 | 0 | 858,257 |
| 次年度繰越金 | | 758,735 | |
| 合計 | | 758,735 | |

平成20年度予算

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

[収入の部]

| 科目 | 予算 |
|---------|---------|
| 前年度繰越金 | 758,735 |
| 本年度会計より | 200,000 |
| 受取利子 | 0 |
| 合計 | 958,735 |

[支出の部]

| 科目 | 予算 |
|----------|---------|
| 地区別支部長会費 | 250,000 |
| 予備費 | 708,735 |
| 合計 | 958,735 |

(H.20.5.3 作成)

会計: 酒匂昭男、黒谷義雄、齋藤常男(各担当理事) 監査: 長澤智則(埼玉支部長) 大竹好文(千葉支部長)

平成20年5月15日

会計 酒匂昭男 齋藤常男

平成19年度会計報告について上記決算は間違いないと

平成20年5月15日 監査 大竹好文

総会総括

平成20年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数16(昨年度19)

1号議案 賛成15 反対0 白票1

2号議案 賛成15 反対0 白票1

3号議案 賛成15 反対0 白票1

4号議案 賛成14 反対0 白票2

① 議案に反対する意見は0です。

② 各議案に対する意見を原文のまま参考資料として、掲載してあります。

③ 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成20年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただきました。皆様方のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

参考資料 書面総会アンケートの集計

回答のあった支部数16(昨年度19)

○秋田支部：1号～4号議案 賛成

2号議案について；記念品代が0円というのは、少し寂しい気はしますが…。

○岩手支部：1号～4号議案 賛成

4号議案について；出来れば順に記載してください。そうでなければ、もう少し目立つように。

○宮城支部：1号～4号議案 賛成

○群馬支部：1号～4号議案 賛成

○茨城支部：1号～3号議案 賛成

4号議案 白票

3号議案について；教育会は理窓会の中の一下部組織として位置づけられていると思いますが、各支部ではどのような連絡をとっているのでしょうか。

○千葉支部：1号～4号議案 賛成

○東京支部：1号～4号議案 賛成

4号議案 会費を納入する会員を増やすよう早期対策をこうじなければいけない。

○神奈川支部：1号～4号議案 賛成

○山梨支部：1号～4号議案 賛成

○静岡支部：1号～4号議案 賛成

○岐阜支部：1号～4号議案 白票

3号議案3について；地区別総会が数年来実施されていない。教育会長名で副会長に働きかけをしてほしい。**6**について；③④地方では理科大入学者の減少があり、理科大は首都圏の一大学になる恐れがある。全国各地から大学生が入学できるよう広報活動を展開する必要がある。広報は業者まかせにするのではなく、地方では卒業生がやった方が効果的である。また、理科大出身の教員を増やすことが大学としての発展につながる。

○富山支部：1号～4号議案 賛成

○大阪支部：1号～4号議案 賛成

○奈良支部：1号～4号議案 賛成

○大分支部：1号～4号議案 賛成

○鹿児島支部：1号～4号議案 賛成

理窓会東京支部総会報告

(33理・化) 奥原 千里

今回東京支部の総会後の講演会・音楽演奏会・懇親会を教育会東京支部と共催にして、多くの会員に声を掛け集めることを試みた。

①日時 平成20年5月25日(日)

12:45～18:00

②場所 東京理科大学1号館17階記念講堂
および大会議室、参加者101名。

③総会

招待者、塚本桓世理事長、竹内伸学長、幡野純常務理事、その他大学関係者、近県支部長等9名。

総会前に常任理事会が開かれ、定刻通り

総会に入った。

④講演会

講師：東京理科大学工学部准教授
大庭 三枝先生

演題：アジア太平洋における新潮流と日本

要旨：アジア太平洋の一国である日本は、今アジアにおいて大きな影響力を持つアメリカとの同盟関係を維持しながらも、中国・韓国・北朝鮮・インド・東南アジア諸国に相対する時の意識を大きく変えなければならない時期に差し掛かっている、という内容であった。

⑤音楽演奏会 トロンボーン四重奏演奏
門井健次(平12理・数)他理大卒3名

⑥懇親会

平成20年度ホームカミングデーが神楽坂キャンパス開催の話題などで盛り上がる。最後に広瀬教育会東京支部長の手拍子でお開きとなった。

理窓会幹事会報告

(42K)小野 具彦

平成20年度理窓会幹事会は、平成20年6月15日(日)13:30より、神楽坂校舎1号館17階記念講堂において行われた。出席者は、支部長・幹事15名、幹事83名、委任状提出者25名であった。

福田常任幹事が司会を務め、理想会会長、学校法人東京理科大学塚本桓世理事長の挨拶で始められた。

塚本会長は、財政基盤の強化の進行、支部活動の活性化、125周年記念募金、大学および大学会館の再構築、等について話された(詳細は理窓7月号をご覧ください)。

続いて、児島紘幹事長が幹事長所信表明を行い、平成19年度の幹事会重点活動と達成度について、組織化の推進、本部事務機能および名簿管理の強化、ホームページのリニューアル理窓会入会式の開催、等の報告があった。また、平成20年度の重点活動

方針として、会則の抜本的な改定、理窓会事業縮小を伴わない歳出見直し、神楽坂実施となったホームカミングデーの実施体制の見直し、を強調された。

次に、塚本会長が議長を務め議事に入り、平成19年度理窓会会務報告、同収支決算並びに監査報告、会則等改訂、平成20年度理窓会事業計画・行事計画、同予算、が提案され、案件通り全て承認された。

続いて、理窓会5ヵ年計画の進行状況、ホームカミングデー、125周年記念事業募金、「東京理科大学発祥の地」記念碑建立募金、について報告があり終了した。

**教員採用試験合格者・管理職選考合格者
教員退職者等激励会**

(48S) 廣瀬和昭

平成20年3月8日理窓教育会東京支部の主催の教員採用試験合格者・管理職選考合格者・教員退職者激励会を理窓会館3階第1会議室にて開催されました。

本会会長の酒井洋先生をはじめ、竹内伸東京理科大学学長などご来賓8名、現職・OB教員、今年度の教員退職者、管理職試験に合格された会員等の出席者60数名が出席して盛大に行われた。また、新規採用教員予定者は、73名の合格者(神楽坂・野田)全員を招待し、そのうち36名が出席した。

會田良三理事の開会の挨拶に続き、来賓としてご出席の塚本桓世理事長代理原文雄先生、竹内伸学長、児島紘理窓会常任幹事長、関根功理窓会東京支部長各位から御祝辞と激励の言葉をいただきました。教職課程指導室の坂本功先生の合格状況の説明の後、東京都立学校数学に合格している峯和歌子さんが合格者を代表して、感謝の意と教職活動をしていくための決意表明を力強く宣誓されました。また、管理職選考合格の増田律子先生に御祝いのボールペンが贈呈されました。

ご来賓の竹内学長は、創立125周年を迎えた東京理科大学は、有能な教員を全国に輩

出してきた伝統ある大学である。今後も大学・大学院の改組により、教職に進む学生が学びやすい教育課程を充実させていきたいと大学教育の将来に希望を持てるとご挨拶をいただきました。

引き続き、富岡康夫都立富士森高校校長の司会で懇親会に入りました。ご来賓として

ご出席の理窓教育会酒井津会長、数学教育研究所澤田利夫所長、教職課程主任眞田克典教授から励ましのご挨拶がありました。

新採の諸君からは自己紹介と教師としての熱い抱負が述べられ、和やかな雰囲気の下、同窓としての先輩・後輩の絆を深めつつ散会しました。

同窓の活躍

都立中等教育学校校長として

東京都立立川国際中等教育学校長 吉澤 郁生 (50 理専数)

私は、現在、東京都立立川国際中等教育学校及びその母体校である東京都立北多摩高等学校の校長を務めております。東京都に奉職して以来一貫して高等学校に携わってまいりました。教諭として3校、教頭として2校、教育庁人事部に籍を置いた後、現在の北多摩高校の校長になり、この4月に立川国際中等教育学校の校長を拝命いたしました。専門は数学です、東京理科大学での恩師である松尾吉知先生のお世話もあり、本職を勤めながら日本数学教育学会の編集部幹事や理科大Ⅱ部数学科の教職を目指す4年生や専攻科の現職の教員などを対象とした講座「数学教育考究」の講義と演習などを兼職させていただき、数学教育に関してはそれなりに研鑽を積んできたつもりです。しかし、不思議なもので英語が特に得意というわけではなく、中学校の経験もない私が、東京都教育委員会の命により、英語の堪能な海外帰国及び外国籍の生徒も在籍する中高一貫6年制の国際中等教育学校の校長を務めることになりました。

現在、東京都をはじめとする公立の中高一貫教育校の設置が大きな関心をよんでおります。これまでの国立及び私立学校における中高一貫教育は、その教育の内容、進学実績などにより高い評価をうけてまいりました。東京都教育委員会は、このような教育を都立学校でも実現してほしいという都民の強い要望と、生徒一人一人の個性をより重視するという中央教育審議会の答

申などを受け、「都立高校改革推進計画・第二次実施計画」により都立中高一貫教育校の設置を決定しました。この都立中高一貫教育校には、高校での募集をしない中学と高校を完全に一体化した中等教育学校と、高校でも一定数の募集を行なう附属中学・高校の併設型の二つのタイプがあります。平成20年4月現在で開校している都立中高一貫教育校は、中等教育学校が3校、併設型が3校の計6校であり、さらに、平成22年度には中等教育学校が2校、併設型が2校の計4校が開校し、10校の設置をもって計画が完了します。都立中高一貫教育校は、国の方針に基づき、入学者の決定に際して学力検査ではなく適性検査を実施しております。適性検査とは、内容が複数の教科や領域にわたり、正解がいくつもあり、受検者が筋道の通った正しい考えをしっかりと記述していれば得点を与えるというものです。その作成及び採点などは非常に手間のかかるものですが、知識偏重の受検対策がたてにくく、またOECDの国際学力到達度調査、全国学力テストなどの各種テストにも採用され、児童・生徒の理解力、推理力、記述力などの総合的な思考力を判定するのに適したものといえます。

以上のことを受けて、立川国際中等教育学校は、この4月に、立川市にあります都立北多摩高等学校の校地に開校いたしました。編成は1学年4学級160名の6年制学校です。各学年160名の内30名が海外帰国

生徒及び在京外国人生徒の枠ですので、都内の公立小学校を卒業する一般枠の生徒は130名の受け入れとなります。本校の基本方針の「違いを尊重しともに学び感動を共有する」に基づいて。海外帰国生徒及び外国人生徒は一般枠の生徒と同じクラスに所属し様々な活動を一緒に行ないます。多摩地区に初めて開校した都立中高一貫教育校でありその人気は非常に高く、この春の募集に関する一般枠の倍率は男子11倍、女子17倍という都立学校としてかつてない高倍率となりました。この難関を乗り越えた生徒たちは、個性的で真っすぐな考えを持ち、すべてに積極的であり、日々活発に学校生活を送っております。今後は、6年間の一貫教育体制を生かし、理数系教育も重視し、5年生までは原則として全員が同じ教科・科目を履修するものとし、高度の教養教育を実施します。レベルの高い実効ある英語教育を行い、将来どの分野に進んでも「英語を道具として使いこなす」人材の育成を目指しております。後期の高校課程では英語による数学や理科の授業も予定しております。

都民の大きな関心と注目を浴びてスタートした学校です、その責任を痛感しつつ、中学生や高校生を相手に充実した楽しい日々を過ごしております。

管理職への昇格

平成20年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

○ 秋田

| | | |
|-------|--------|-------|
| 田中 道夫 | 54 理専数 | 秋田南高頭 |
| 佐藤 昌美 | 56 理物 | 指導主事 |
| 長岐 康彦 | 58 理工数 | 指導主事 |

○ 宮城

| | | |
|-------|-------|------|
| 小野寺有一 | 53 理数 | 大島中長 |
|-------|-------|------|

○ 群馬

| | | |
|-------|-----|-------|
| 奈良 正幸 | 理応数 | 太田東高長 |
|-------|-----|-------|

金井 貢

伊勢崎興陽高長

○ 茨城

| | | |
|-------|--------|------|
| 小関日出男 | 49 理応数 | 総和高長 |
|-------|--------|------|

○ 東京

| | | |
|-------|--|---------|
| 北原 福二 | | 私立本郷中高長 |
| 北村 隆 | | 中長要員 |
| 釧持 利行 | | 中長要員 |
| 野澤 幸美 | | 中長要員 |
| 井口 尚明 | | 中長要員 |
| 谷川 公將 | | 中長要員 |
| 木村 正 | | 中長要員 |
| 井口 寛隆 | | 中長要員 |
| 青山 隆志 | | 中長要員 |
| 永井 厚 | | 中長要員 |
| 弓田 豊 | | 中長要員 |
| 遠山 正克 | | 中長要員 |
| 上倉 敏郎 | | 中長要員 |
| 橋本 智 | | 中長要員 |
| 森 由紀男 | | 中長要員 |
| 瀬戸口隆司 | | 中長要員 |
| 大橋 亮介 | | 中長要員 |
| 亀山 順子 | | 中副長要員 |
| 大阪 崇 | | 中副長要員 |
| 萩野 正隆 | | 中副長要員 |
| 増田 律子 | | 中副長要員 |
| 志賀 仙長 | | 中副長要員 |
| 渡部 孝司 | | 中副長要員 |

○ 神奈川

| | | |
|-------|--------|--------|
| 田中 均 | 51 理数 | 相模大野高長 |
| 野地 泰夫 | 50 理応数 | 松陽高長 |
| 川名 伸治 | 49 理応数 | 平塚農業高長 |
| 山田 義明 | 53 理応数 | 座間高副長 |
| 仲澤 賢 | 52 理応化 | 相原高副長 |
| 川津 正己 | 60 理化 | 瀬谷高副長 |
| 奥津 泉 | 54 理応数 | 大井高頭 |

○ 山梨

| | | |
|-------|---------|-------|
| 横森 孝徳 | 54 理工工化 | 中央高頭 |
| 橋田多喜夫 | 53 理物 | 県行政主幹 |

○ 静岡

| | | |
|------|--------|-------|
| 木内 勲 | 53 理工数 | 韮山南小長 |
|------|--------|-------|

○ 岐阜

| | | |
|-------|-----|--------|
| 重山 武平 | 理工数 | 特別支援校頭 |
|-------|-----|--------|

○ 岡山

高野 亨 51 理数 久米中長

赤松 一樹 60 理応数 指導主事

(副参事)

仁科 康 55 理応数 倉敷市学事課長

○ 鹿児島

豊島 真臣 54 理応数 北薩事務所長

神園 良和 58 理物 指導主事

二川 美俊 59 理化 指導主事

堀ノ内昭二 59 工電 指導主事

以上、名簿が到着した都道府県のみ掲載します。東京都は管理職選考試験合格者です。

新任教師の抱負

愛知県立成章高等学校

教諭 菊地 慧

3月に大学を卒業し、4月から愛知県の渥美半島にある成章高校で教員生活が始まりました。成章高校は今年の春、21世紀枠に選ばれ甲子園出場を果たしました。甲子園にはOBや地域の方々など、大応援団を引き連れて野球部の応援に行きました。その甲斐あって、最優秀応援賞という賞を得ることができました。このように、成章高校のために本気になって支援してくださる地域の方々がいる学校で勤務できることを大変うれしく思っております。

私は教員の仕事の一つとして、雑務という言葉をよく耳にしていました。教育実習の際にも「雑務が思ったよりも多いなあ」と思った記憶がありますが、実際、自分が教員になってみると雑務に振り回されています。また、会議や研修等があり、そして校務分掌の仕事、生徒のノートチェックや提出物の確認、さらに教材研究や部活動などなど。授業以外の仕事の方が多気がします。

授業では、中間考査や期末考査の結果から、生徒の学力が把握できたため、生徒に合わせて授業をしています。年齢が近いこともあって、生徒から直接授業に対する意見等を聞く機会があるため、それらを参考

にしながら日々一つひとつの課題をクリアしています。

部活動は女子ソフトテニスの顧問となりました。ソフトテニス未経験ですが、生徒にルールなどを聞きながら、生徒の練習や試合を見ながら過ごしています。しかし、相手が女子ということもあって人間関係が大変難しいです。現在私は、他の仕事よりも、部活の女子生徒とのコミュニケーションに苦戦しています。色々自分なりに考えて行動していますが、なかなかうまくいきません。

私の教員生活は悩みとの戦いです。研修等を通して教員の仕事が段々とわかってきました。毎日忙しいですが、これからも努力をし続け、一日も早く一人前になれるよう頑張りたいと思います。

東京都立板橋高等学校

教諭 鈴木 友崇

私は、今年の3月に理学部第二部数学科を卒業して、4月から東京都立板橋高等学校の数学の教員また、硬式野球部の顧問として日々努力をしております。

私は、東京都教員採用試験を受けるにあたり、「第74回選抜高校野球大会出場(2001年度春)ベスト16位(大阪体育大学浪商高等学校)」、「2005年度 関東Ⅱ部軟式野球連盟 ベストナイン 外野手部門」での実績を認められ、東京理科大学から学長推薦をいただき、スポーツ・文化等特別推薦という試験で採用に至りました。

採用試験での個人面接のときです。「数学の教員として信頼される教員、部活動においては、甲子園出場を夢ではなく目標としてやっていきたい」と言ったことを今でも覚えています。大学に入学した当初から、数学を教えながら野球も教えたいという目標が芽生えて、大学時代に学業に勤しんだことが今日の私を作ったのではと思っております。

今、部活動において、第90回全国高等学校野球選手記念大会が近く、メンバーの練

習が中心となっていますが、メンバー外に関して、板橋高校硬式野球部では初の応援団を結成し、メンバーの力になるよう応援を繰り返し練習しています。部員が40名を超えるいま、本当の意味でチームが一丸となるように指導していくことが現在の目標となっています。

教科・生徒指導においては、これから教員としてやっていけるのかという問題に直面しておりますが、生徒を指導する際には、生徒の立場に立ち、自分が理解したのではなく、生徒が理解できる言葉の伝え方に重点を置いて日々努力をしています。すべての授業がうまくいっているわけではありませんが、少しずつできることから教員としてのスタイルを身に付けていきたいと思えます。

最後に、今この場にいられることは、東京理科大学での皆様方のご協力があったに他ならないことを強く申し上げたいと思えます。本当にありがとうございました。

東京都板橋区立赤塚第二中学校

教諭 峯 和歌子

教師になって4ヶ月、一学期が無事に終わりました。終業式終了後、昇降口で下校指導している私に、「せんせ、せんせ」と集まって来る生徒たち、「良い夏休みを」と恥ずかしそうに挨拶する生徒、たくさんの笑顔に囲まれ幸せな時間を過ごしました。教師には、生徒のように通知票を渡されることはありません。しかし、子供が見せてくれたこの「笑顔」こそ、生徒から私への「通知票」だと思っています。

私は、今年3月に理学部二部数学科を卒業し、板橋区立赤塚第二中学校の教員として教壇に立っています。現在1年生137人の副担任をしています。

4月当初、毎日が初めての体験で、分からないことがたくさんで、不安な日々が続きました。1ヶ月が過ぎようとしたある日の放課後、先輩教師から「副担任って何だと思う」と質問されました。「担任の先生

をサポートする役割では」と言いかけた私に「副担任は補佐役ではない。1年生全員の担任、総担任なんだよ」とおっしゃいました。その言葉に、全てにおいて弱腰だった自分が恥ずかしくなりました。そして3つの誓いをたてたのです。

①「初任者だから」と言う言葉に逃げない。初任であろうと、何であろうと、生徒には同じ教師に変わらないのです。

②一歩前に踏み出す。不安に負けない。失敗することを恐れているは何もできないのです。

③全ては「生徒のために！」という精神を忘れないこと。それは、自分が何のために教師になったかを忘れないことでもあります。

今、私は「教師になって本当に良かったなあ」と思っています。もちろん、悩むこと、落ち込むこともあります。しかし、そんな時に勇気や元気をくれるのも、また生徒なのです。私は彼らとともに、そして、彼らのために、これからも精一杯努力していきます。

足立学園中学校高等学校

専任教諭 渡辺 綾

教師になってから、あっという間に4ヶ月がたちました。今、人生で一番充実した日々を送っていると思います。

4月は不安でいっぱいでした。「専任」「新卒」「1年目」という言葉を聞く度にプレッシャーを感じ、周りの先生方からの視線ばかり気にしていました。ですが、温かい言葉をかけて下さる先輩の先生や、仲良くしてくれる同期の先生のおかげで、今ではすっかり学校に馴染んでいます。

今年は中学1年の副担任をしています。来年からは私も担任になるそうなので、毎日担任の先生にべったり張り付き、生徒指導や学級経営について勉強しています。中学1年生には、言葉遣いやあいさつ、服装、頭髪、忘れ物など、とても細かい事まで指導が必要なので、子どもたちの前にまず自

分がしっかりしなければ…といった感じでは。

教科指導では、中学1年と高校1年の数学を教えています。毎日試行錯誤しながら、何とか順調に進んでいます。中学1年では、定期試験とは別に、単元が終わるごとに確認テストを実施しています。合格点に達しなかった生徒は放課後残して個別に指導し、合格するまで何度も追試を行います。こうすることで本番の定期試験に失敗しないよう、クラスで落ちこぼれを出さないようにしています。また、高校1年生には週3回の朝補習を行っています。ここでは、普通の授業では扱えない発展的な内容や、大学入試問題などに触れ、早くから大学受験に対する意識付けを目的としています。

教師としてまだまだ未熟者な私ですが、他の先生方に経験で負けている分、努力でカバーしようと日々奮闘しています。これからも、生徒の一生を預かっているという自覚を持ち、質の高い教師を目指していきたいと思います。

大学との連携

1. 入学前学習支援事業への協力

入試センター入試課 (44S) 澁谷 重雄

平成19年度から、教育会東京支部では大学の連携事業として、推薦入学者対象に入学前学習支援プログラムを実施しています。入試センター入試課がその業務の担当です。今年度は2年目、まだ不十分なところもありますが、やっと軌道にのってきた感じでは。

推薦入試では入学許可が、一般入試より早く決まり、合格後、授業や勉学を真剣に取り組まない生徒もいるようです。特に、本学は数学と理科の基礎基本学習を欠かすことができません。入学後の学力向上を図るためにも、数学、物理、化学の課題問題を与え、添削指導を実施しています。

テキストの作成や添削指導は教育会東

京支部に協力をお願いし、そのおかげでこのプログラムが滞りなく実施できています。テキスト作成は各科目にそれぞれ2名、添削指導は数学10名、物理8名、化学7名の先生方をお願いしています。その他、大学の研究室から推薦で、大学院生12名にも添削指導を手伝わせています。

今年、20年度は一般入試以外の推薦入試などで合格した約600名の生徒を対象としていますが、このプログラムへの参加は自由です。そして、参加した生徒は数学356名、物理242名、化学212名です。今年度は12月～3月にかけて、郵送により各科目とも延べ3回の課題を与え、1回あたり10問で合計30問の問題を解答させています。生徒へのアンケート調査では、参加したこと、テキストの難易度、実力の向上などで満足度が高いです。また、教育会先生方の添削指導は好評を得ています。

課題として、一般入試を除く推薦入試などで合格した生徒全員参加することが望ましく、大学全体で検討する必要があると思います。さらに、このプログラムに参加した学生の学力向上がどうであるかを検証しなければと考えております。

2. 教職課程指導室(神楽坂地区)の充実

総務理事(41S) 坂本 功

理窓教育会の会則に謳われた「大学から委託された教育に関する事業」の一つとして、教職課程指導室で理窓教育会の会員が嘱託員として仕事をしております。教職希望の学生の増加に伴い今年度から4人体制になりました。伊藤操先生の後任として榎本成己先生(前都立南多摩高校長)、増員として松原秀成先生(元区立小岩三中校長)が加わりました。これで教育実習指導の担当が一部数学；坂本、二部数学；小久保、一部理科；榎本、二部理科；松原、という体制が確立しました。ちなみに今年度教育実習を行っている学生は、一部数学81名、二部数学66名、一部理科54名、二部理科49名です。明日の理数教育を担う若者の育

成に、経験を生かして活躍しております。

また、4人の体制になったことにより、理窓教育会の事務局的な仕事も、手がけて行こうと考えております。

事務局について

総務理事 (41S) 坂本 功

1. 支部(支部長)との連絡窓口

入試センター 澁谷 重雄

在室 (火、土) 10:00~16:00

TEL 03-5228-8092 FAX 03-5228-8093

メール shibuya_shigeo@admin.tus.ac.jp

2. 一般の連絡窓口

①書面での連絡先

〒162-0852

東京都新宿区神楽坂2-13-1

理窓会館4階 理窓会事務所内

東京理科大学理窓教育会 宛

②急ぎの連絡先

教職課程指導室 坂本功 (総務理事)

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール isoskmt@rs.kagu.tus.ac.jp

理窓教育会ホームページもご覧ください。

「理窓教育会」と入力すると、開きます。「東京理科大学理窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがああります。ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.rikadai.jp/>

検索で「東京理科大学理窓会」を入力して、トップページを開き、「関連団体ホームページ」をクリックし、さらに「教育会」をクリックしても開きます。

理窓教育会 支部別会費納入口数

| 県名 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 県名 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|-----|------|------|------|-------|-----|-------|-------|------|-------|
| 北海道 | | | 1 | | 滋賀 | | | | |
| 青森 | 1 | 1 | 1 | 1 | 京都 | 10 | | | |
| 岩手 | 33 | 28 | 15 | 5 | 大阪 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 宮城 | 18 | 6 | 6 | 11 | 兵庫 | 4 | 13 | 14 | 6 |
| 秋田 | 7 | 27 | 36 | 12 | 奈良 | | 10 | | |
| 山形 | | 1 | | 1 | 和歌山 | | | | |
| 福島 | | | | | 鳥取 | 1 | | 4 | |
| 茨城 | 26 | 23 | 21 | 3 | 島根 | | 1 | | |
| 栃木 | | 8 | 1 | | 岡山 | 3 | 2 | 1 | |
| 群馬 | 16 | 1 | 1 | | 広島 | 5 | 40 | 53 | 9 |
| 埼玉 | 39 | 42 | 38 | 38 | 山口 | 2.5 | 4.5 | 2 | 1 |
| 千葉 | 4 | 41 | 34 | 1 | 徳島 | | | | |
| 東京 | 61 | 49 | 56 | 40 | 香川 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 神奈川 | 18 | 30 | 35 | 33 | 愛媛 | 1 | | | |
| 山梨 | 1 | 1 | 2 | | 高知 | 2 | | 1 | |
| 長野 | | 1 | | | 福岡 | 5 | 5 | 4 | 3 |
| 静岡 | 21 | | 22 | 23 | 佐賀 | 3 | 1 | 1 | |
| 愛知 | 3 | 3 | 8 | 1 | 長崎 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| 岐阜 | 1 | 1 | 1 | 1 | 熊本 | 1 | | | |
| 三重 | 1 | 1 | 2 | | 大分 | 3 | | 2 | |
| 新潟 | 1 | | 2 | 1 | 宮崎 | | | | |
| 富山 | 17 | 8 | 10 | 9.5 | 鹿児島 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 石川 | | | | | 沖縄 | | | | |
| 福井 | 8 | | | | 小計 | 47.5 | 83.5 | 89 | 24 |
| 小計 | 276 | 272 | 292 | 180.5 | 合計 | 323.5 | 355.5 | 381 | 204.5 |

*平成20年度は7月末日までのもの